

Mランドニュース Vol.186

丹波ささ山校 令和4年10月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

人間が進歩するためには、まず
第一歩を踏み出すことである。
長い目で見れば、人生にはムダ
がない。

本田 宗一郎

幸せになる方法

教習・教育課

課長 南勝 宏幸

平成十七年の同期入社
の同僚が、本年六月末で自
分の夢を叶えるために退職
しました。

彼は退職前の休曜日、「掃
除に学ぶ会」に、お二人のお
子さんとともにいつものよう
に参加しました。

その前向きな姿勢に、「だ
から彼の人生は幸せになれ
るのか」と感じました。

また、それは自分のためだ
けではなく、大切な子ども
たちにも、肌で感じてもら
えるよう寄り添い、「幸せに
なる方法」を一緒に学んで
び合っているように感じ、そ
のとき心を動かされました。

私自身は、公私ともに何
かモヤモヤとする日々が続
いており、そんな時にふと彼と
彼の家族の行動を思い出し、
ゴミ拾いを始めることを決意
し行動に移しました。

ゴミ拾いを始めると日々
気付きを得ました。

当初は、思ったよりもゴミ
がたくさん落ちていたり、こ
ゴミを拾っても数日後にはま

た元の状態に戻っていること。
またある日には数時間前に
掃除した場所を教習中を通
ると、すでに大きなゴミが落
ちているなど、ゴミの状態ば
かりを意識していました。

いかがでしょうか。これは皆
さまへの質問と同時に、私の
心境の変化でもあります。

突然ですが、ここで皆さま
に「質問」です。

① 「あ、ゴミ落ちとるなあ」
② 「誰や、こんなところにゴ
ミ捨てて、腹立つなあ」
③ 「お！運が落ちてている、
宝物や、ラッキー！」



猛暑の中、日々掃除範囲は広がっていました

秋祭りでは、寛文三年
(一六六三年)から受け継が
れた、京都の祇園祭の影響
を色濃く受けた九基の山鉾
が練り歩き、「小京都」の名
にふさわしい空間が演出さ
れます。

秋の風物詩 再開!

新型コロナウイルスの影響
で、近年丹波篠山でも行事
や、イベントの縮小や中止が
数多くありました。

今年はいよいよ、地元の人
々が愛してやまない秋の
風物詩「春日神社秋祭り」
が再開されます。

しかし、ゴミ拾いを始めて
からは、良いところを見つけ
て、ゲストが一所懸命に取
り組んでいる姿勢を応援す
る気持ちで、教習に取り組
めるようになってきたように
感じております。

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしましょう。

10/8(土) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:大澤

10/29(土) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:前川

※当日はMランド集合です。(雨天中止)
ご参加いただける方は井本までご連絡ください。

本年は十月十五日(土)、
十六日(日)という日程で開
催されます。
丹波篠山の秋の風物詩、
「春日神社秋祭り」を、是非
ご覧ください。



活気に溢れたこの祭りは、
老若男女を惹きつける大き
な魅力があります。

あなたもライダーに!

顧客チーム 寄本 公一

『バイクブーム再来!』

ここ数年、コロナ禍でも密を避けて楽しむことができ、バイクが見直されているようです。

特に近年は、四十代から六十代にかけての年齢の方が数多くお入りになられます。ある調査では、二輪車購入の平均年齢が五十四歳という結果も出ており、大人の趣味の乗り物としても人気を博しているようです。私自身も、教習において二輪車の安全運転を伝えながら、趣味としてツーリングを楽しんでいます。



その中でも特に私のお気に入りなのが、『〇〇イチ』なるもの。

ご存知の方もあると思いますが、関西で有名な琵琶湖を一周する『びわイチ』。ともに淡路島を一周する『あわイチ』があります。

びわイチが一周約二〇〇kmに対し、あわイチが一周約一五〇km、移り変わる風景を楽しみながら、のんびり走るならちよūdよい距離で、関西圏の日帰りツーリングには打って付けです。

繁忙期が終わり、ちょっと落ち着きが出てくると、休みをいただき、ロングツーリングに出かけます。

以前は行き先を決めずひたすら走り続け、日没頃に辿り着いた宿で一泊し、別のルートで帰るという自称「ミステリーツーリング」をしていたのですが、近年それに加え一方の趣味であったアウトドアとツーリングを融合させた「ソロキャンプツーリング」にはまっています。

ここでの私のポイントはあくまでも『ソロ』であるということ。一人であればキャンプ場までの道のりを気分次第で決め、立ち寄りしたいところ

を見つければ立ち寄り、ようやくキャンプ場に到着しても、自分の過ごしたいように過ごせるのです。

早朝に出発し、昼過ぎにキャンプ場に辿り着き、日が暮れるまでは読書をしたり、何も考えずただポットと景色を眺めたり、焚き火用の薪割りをしたりと、何とも無駄とも思える、贅沢な時間の使い方ができるのです。



湖面に朝日が黄金色に輝きました。絶句です

夜は焚き火で調理をし、好きなものを食べ、食後はただひたすらに、焚き火を見つめて眠らなったら寝るといいう、日常ではできない一日を送ることが出来ます。

翌朝は早寝をした分、日の出とともに目が覚めるので、朝食をとると早々に片づけを済ませ、その後は気のすむ

までツーリングをしてから家に帰ります。

因みに一番のお気に入りコースは、びわイチ後の琵琶湖畔でのキャンプです。

どうですか?あなたもバイクに乗って出かけたくなってきましたか?

私の友人に四十歳を過ぎ二輪免許を取得した人がいますが、「こんな楽しいことがあるのに、なんでもっと早くに気付かんかったんや」と言っています。

まだ二輪免許をお持ちでない方は是非Mランドにお越しください。

あなたの人生がもっと豊かななることをお約束します。

お便り紹介

Mランド丹波ささ山校の六十回目熱い夏。繁忙期も皆さま方のおかげで無事に終えることができました。

お越しいただいた、多くのゲストの皆さま、応援してくださった方々に感謝申し上げます。

その中八月に卒業された下高美聡様より、嬉しいお便りをいただきましたのでご紹介させていただきます。



Mランドの皆さまへ
お手紙ありがとうございます。広島までしっかり届きました。広島までしっかり届きました!

合宿では大変お世話になりました。

卒業して二日後に、本免許試験を受けて無事に免許を交付してもらいました。

Mランドの問題集を直前までやって臨んだので、どれも迷わず解きました。

授業をして下さったインストラクターの皆さん、本当にありがとうございました。

Mランドを卒業して一か月が経ちますが、運転席に座ると今でもMランドで練習した日のことを思い出します。

これからも安全運転を心掛けてます!

Mランドの皆さん、忙しい日々が続いていると思いますが、お体に気を付けてお過ごしください。

今月のありがとうカード

Mランド丹波ささ山校の皆様
2週間たくさんお世話になりました。Mランドのインストラクターの方たちは、みんなとても温かくて、毎日とても楽しく教習を受けていました。日が経つにつれて、「帰りたくないなあ」という想いが、強くなっていきました。
こんな素敵な教習所で学んだ卒業生はみんなきっと素敵なドライバーになるんだろうと思います。Mランドに来て良かったです。
たくさんの思い出、絶対に一生忘れません。

松井 杏花里様

編集後記

Mランドを卒業されても、「地球と地域のドライバー」になっただけでなく、これが私たちの願いです。

さあ、これからどんなゲストとお出合いができるでしょう。

(徹)

